便利な機能

歩数計を使う ..... <歩数計> 414
マルチアクセス ..... <マルチアクセス> 415
マルチタスク ..... <マルチタスク> 416
着信やメールの内容を音声で知らせる ..... <音声読み上げ> 417
指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る
..... <自動電源ON／OFF設定> 419
アラームを利用する ..... <アラーム> 420
カレンダーでスケジュールを管理する ..... <スケジュール> 422
ToDoでスケジュールを管理する ..... <ToDo> 427
アラームで通知するときの状況を設定する
..... <アラーム通知設定> 429
オリジナルのメニューを使う ..... <プライベートメニュー設定> 429
よく使う機能をマルチボタンに登録する
..... <マルチボタン長押し登録> 430
TV／録画ボタンを押したときの動作を設定する
..... <TV／録画ボタン長押し登録> 430
自分の名前やメールアドレスなどを登録する ... <自局番号表示> 430
音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する
..... <通話中音声メモ><音声メモ録音> 431
テレビ電話中の映像を動画メモとして録画する..... <動画メモ> 432
通話時間と通話料金を確認する..... <通話時間／料金> 433
積算時間／積算通話料金をリセットする..... <積算リセット> 433
通話料金の上限値を設定する ..... <通話料金通知> 434
電卓を使う..... <電卓> 434
テキストメモを作成する..... <テキストメモ> 434
FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する
..... <FOMAカード(UIM)操作> 435
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた
..... <スイッチ付イヤホンマイク> 437
イヤホンをつないだときに使うマイクを選ぶ
..... <イヤホンマイク設定> 437
イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ
..... <イヤホンスイッチ発信設定> 438
イヤホンをつないで自動で電話を受ける..... <オート着信設定> 438
Bluetooth機能を利用する ..... <Bluetooth機能> 439
フェムトセルを利用する..... 446
各種機能の設定内容を確認する..... <設定確認> 446

<歩数計>

歩数計を使う

FOMA端末を持ち歩いている間の歩数を計測し、計測結果に基づいて歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量を表示します。

■歩数計利用時のご注意

- 時計設定を行っていない場合は、利用できません。
- キャリングケースL 01(別売)に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんなどに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

■計測について

- 一定のペースで歩行していただくと、より正確に歩数を計測できます。毎分100～120歩程度で歩くことをおすすめします。
- 歩きかたや計測できない状況などで歩数に誤差が生じる場合があります。また、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量は歩数と入力した体重、歩幅をもとに算出されます。あくまで目安としてご活用ください。
- 誤カウントを防ぐため、歩き始めや歩くペースを変えた直後は数値が変わりません。目安として10歩以上歩くとそこまでの歩数が一度に加算されます。
- 電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測されません。
- 以下の場合は歩数が正確に計測されないことがあります。
  - ・FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たっていたり、FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたりして不規則に動くとき
  - ・すり足のような歩きかたをしたり極端にゆっくり歩いたとき
  - ・歩行以外のスポーツやジョギングをしたとき

計測履歴を表示する

歩数を計測するには、「歩数計設定」を「ON」に設定します。(お買い上げ時は「ON」に設定されています。)歩数の計測は「歩数計設定」を「OFF」に設定するまでは、常に計測されます。

1 MENU▶LifeKit▶歩数計

- ●を押すごとに1日ごとの表示→1週間ごとの表示→1ヶ月ごとの表示に変更できます。
- ○を押すと前後の日、週、月の計測履歴を表示します。
- ✉を押すごとに計測データの項目を変更できます。
- 1週間ごとの表示や1ヶ月ごとの表示の際に、MENUを押すごとにテキスト表示→リスト表示→グラフ表示を変更できます。

歩数計測履歴画面

お知らせ

- 計測履歴は、「MENU▶LifeKit▶歩数計」の操作を行うごとに最新の状態に更新されます。待受画面に歩数などを表示するFlash画像を設定している場合は、Flash画像が再生されたときにも更新されます。歩数計測履歴画面を表示中や、待受画面のFlash画像が停止中は更新されません。
- 表示されるデータの項目とその1日当たりの最大値は以下のとおりです。
  - ・歩数 999999歩
  - ・歩行距離 1000000m
  - ・消費カロリー. . . . 7000.0kcal
  - ・脂肪燃焼量 900.0g
  - ・それぞれの目標　・目標までの残り　・達成度
- 目標歩数の値に従ってそれぞれの項目の目標が算出されます。また、目標歩数の達成度に応じて画面の表示が変化します。
- 0:00～23:59までを1日分の計測履歴として保存します。計測履歴は1ヶ月ごとに最大3ヶ月分(92日)まで保存されます。

お知らせ

●計測履歴は約15分ごとに保存されます。ただし、電池パックを外した場合、最後に保存された計測履歴から電池パックが外されるまでの歩数は計測履歴には保存されません。

歩数計測履歴画面の機能メニュー

歩数計設定	歩数の計測を開始／停止します。 ▶**ON・OFF** ●「OFF」に設定しても計測履歴はリセットされません。再度「ON」に設定すると続きとして計測を再開します。
ユーザ情報設定	体重と歩幅を設定します。ユーザ情報は歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量の算出に使用します。 ▶**体重(kg)を入力**▶**歩幅(cm)を入力** ●「030」～「120」の3桁を入力します。
目標歩数	目標とする1日分の歩数を設定します。 ▶**歩数を入力** ●「000000」～「999999」の6桁を入力します。
履歴全削除	計測履歴をすべて削除します。 ▶**暗証番号を入力**▶**YES**
デスクトップ／ 登録	
デスクトップ貼付	P.35参照
ボタン長押し登録	P.430参照

＜マルチアクセス＞

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
画面を切り替えるときは(メール)を押してタスクメニューから切り替えます。(P.417参照)
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.526参照。

音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

●マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

iモード中・パケット通信中に音声電話をかける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 iモード中・パケット通信中▶(メール)▶待受画面

2 電話をかける

●iモード中にテレビ電話をかけると、iモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
テレビ電話を終了すると、iモードの画面に戻ります。

iモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶[通話]で電話に出る

- 電話に出ないでiモードやパケット通信の画面に戻るには[メール]を押してタスクメニューを表示し、機能を切り替えます。もう一度[メール]を押すとタスクメニューから電話着信画面に戻れます。
  相手にはメッセージは流れず、呼び出し中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにiモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶[メール]▶MENUを開く

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

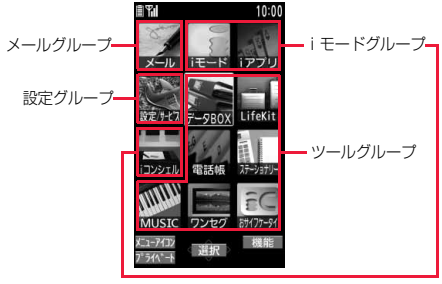
お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。
- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
  ・通話中　・カメラ起動中
  ・ワンセグ視聴中(「メールテロップ表示設定」が「OFF」以外の場合)
  ・iアプリ待受画面に設定したiアプリを通常のiアプリとして実行中
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

<マルチタスク>

マルチタスク

FOMA端末は、メニュー機能(P.37参照)など最大3つの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。
(マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.527参照)



■メールグループ
iモードメール機能、SMS機能

■iモードグループ
メインメニューの「iモードグループ」内のメニュー機能

■設定グループ
メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能

■ツールグループ
メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能

■その他グループに属さない機能
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

新しい機能を実行する

1 各種機能を実行中▶(ツール)▶MENUを開く▶新しい機能を実行

使用中のグループのアイコンには「▼」などが付きます。
使用している機能が1つのときは「▬」のアイコンが表示されます。複数の機能を使用中は「▬」のアイコンが表示されます。

ツールグループの機能を実行中の場合

すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは

機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

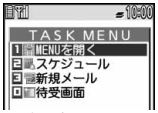
お知らせ

- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が起動中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

(ツール)を押すと、タスクメニューが表示されます。タスクメニューから機能を選択して切り替えることができます。

- 「MENUを開く」を選択するか(MENU)(Menu)を押すと、ノーマルスタイル時はメインメニュー、ヨコオープンスタイル時はヨコオープンメニューが表示されます。
- 「待受画面」を選択するか(待受画面)を押すと、待受画面が表示されます。



タスクメニュー

お知らせ

- (ツール)で画面を切り替えても、起動中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力(編集)画面から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で(終了)を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで(iR)(END)を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。
- バックグラウンド再生中の待受画面で(終了)を押すと、メニュー機能を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

＜音声読み上げ＞

着信やメールの内容を音声で知らせる

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルの操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ設定▶ON・OFF▶読み上げたい項目にチェック▶✉(完了)

ボイスダイヤル
. . . ボイスダイヤル呼出の操作を音声ガイダンスで案内します。
電話着信
. . . 音声電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。
テレビ電話着信
. . . テレビ電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。
メール／メッセージ受信
. . . メールやメッセージR/Fの受信時に件数を音声でお知らせします。
「メール／メッセージ鳴動」の設定は無効になります。
送受信メール一覧表示
. . . メール一覧画面で送信元／宛先、題名などを読み上げます。
送受信メール詳細表示
. . . メール詳細画面で送信元／宛先、題名、本文などを読み上げます。
「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生する」に設定中で、メロディが自動再生された場合は読み上げません。
デコメアニメ®の再生画面では、本文は読み上げません。
メールプレビュー
. . . プレビュー表示の画面で宛先、本文などを読み上げます。

- いずれかのボタンを押すとメールの音声読み上げを途中で止めることができます。ただし、画面をスクロールした場合は、音声読み上げは継続されます。
- 以下の場合はメールの音声読み上げは行いません。
  ・ワンセグの音声が流れているとき
  ・マルチウィンドウでメールを表示しているとき
  ・microSDカードに保存しているメールを表示したとき

音声読み上げ音量

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ音量▶○で音量を調節

音声読み上げ速度

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ速度▶速度を選択

音声読み上げ出力先

音声読み上げ時に鳴る音を、スピーカーから鳴るようにするか受話口に耳をあてて聞くようにするかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ出力先▶スピーカー・受話口

お知らせ

- 「受話口」に設定していても、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」はスピーカーから音が鳴ります。
- イヤホンマイク(別売)を接続すると、「イヤホン切替設定」の設定に従って音が鳴ります。ただし、「音声読み上げ出力先」を「受話口」に設定し、「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定した場合は、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」以外はイヤホンからのみ音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器からは「電話着信」「テレビ電話着信」のみ音声読み上げを行う場合があります。
- イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても音声読み上げが止まらない場合があります。

音声読み上げ有効設定

イヤホンマイク(別売)を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ有効設定▶標準・イヤホン接続時のみ

標準 . . . . . .常に音声読み上げを行います。
イヤホン接続時のみ . . . . .イヤホンマイクを接続しているときのみ音声読み上げを行います。

お知らせ

●「イヤホン接続時のみ」に設定しているときは、音声読み上げ中にイヤホンマイクを外しても音声読み上げが継続されます。また、イヤホンマイクを外しているときに着信などがあった場合は、イヤホンマイクを接続しても、音声読み上げは行いません。

音声読み上げのルールについて

メールなどの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。

●使用する機能によっては、各ルールとは異なって読み上げる場合があります。

＜数字＞

●数字が並んでいる場合は、16桁まで桁読みします。ただし、先頭に「0」がある場合やURL、メールアドレスと判定された場合は、数字を読み上げます。

●数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。

●「1日」は日付とそれ以外で読みが異なります。
「1日」以外は常に日付と同様に読み上げます。

●数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。

●電話番号や郵便番号は「−」「(」「)」は読み上げず、数字だけを読み上げます。

●数字の先頭に「¥」「$」「¢」「£」がある場合は、金額として読み上げます。「,」が使用されている場合は、3桁ごとに区切られていなければ「,」より前を金額、あとを数字と判定します。

●「(数字)分の(数字)」は分数として読み上げます。

＜英字＞

●FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って読み上げます。

●4文字以上でローマ字読みできる場合は、ローマ字読みで読み上げます。

●数字のあとに英字がある場合は、単位として読み上げるものもあります。

●日付の前にある「M」「T」「S」「H」は年号に変換して読み上げます。

●上記の条件以外の場合は、アルファベット読みで読み上げます。

＜記号＞

●「記号一覧表」に従って読み上げます。ただし、同じ記号が3つ以上続く場合は、その記号を読み上げません。

●以下の文字列は「ヘンシン」と読み上げます。
「Re:」「Re>」「Re2:」「Re2>」「Re2＊」

●以下の文字列は「テンソー」と読み上げます。
「Fw:」「Fw>」「Fw2:」「Fw2>」「Fw2＊」「Fwd:」「Fwd>」「Fwd2:」「Fwd2>」「Fwd2＊」

●「ヘンシン」「テンソー」が複数連続する場合は、1回のみ読み上げます。

＜絵文字＞

●「絵文字一覧表」に従って読み上げます。

＜顔文字＞

●FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って顔文字を読み上げます。ただし、URLやメールアドレスと判定した場合は、記号として読み上げます。

＜その他＞

●句読点や「！」「？」などがある場合は、区切って読み上げます。

●曜日を表す漢字が「(」「)」ではさまれている場合は、曜日として読み上げます。

●文章の内容や記載の内容(特に地名や固有名詞など)により、正しく読み上げが行われない場合があります。

＜自動電源ON／OFF設定＞

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

1 (MENU)▶**設定／サービス▶時計▶自動電源ON／OFF設定▶自動電源ON・自動電源OFF▶項目を選択**

OFF. . . . . 自動電源ON／OFFを設定しません。設定が終了します。
1回 . . . . . 設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。
毎日 . . . . . 設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

2 **時刻を入力**

お知らせ

●「自動電源ON」と「自動電源OFF」を同時刻に設定した場合、設定した時刻になったときにFOMA端末の電源が切れていると電源が入り、FOMA端末の電源が入っていると電源が切れます。

●アラームやスケジュールアラームなどと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームなどが優先されます。

●「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。起動中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。なお、待受画面にFlash画像を設定すると、Flash画像が動いている間は電源が切れないことがあります。

つづく

お知らせ

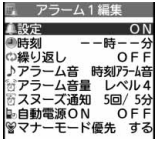
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

<アラーム> MENU 4 4

アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。12件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶アラーム▶アラームを選んで✉(編集)▶以下の操作を行う



設定	アラームの有効／無効を設定します。 ▶ON・OFF
時刻	▶アラームを鳴らす時刻を入力 ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
アラーム音量	▶◎で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1〜6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
スヌーズ通知	▶ON・OFF ON……鳴動回数(回)を「01」〜「10」の2桁で入力し、鳴動間隔(分)を「01」〜「15」の2桁で入力します。 OFF……鳴動時間(分)を「01」〜「10」の2桁で入力します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.421参照。
自動電源ON	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶電源ONする・電源ONしない
マナーモード優先	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶優先する・優先しない 優先する……P.107「アラーム音量」に従って音が鳴ります。 優先しない……本機能で設定した音量で音が鳴ります。

2 ✉(完了)を押す

- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
  - Ⓓ:毎日繰り返し
  - Ⓦ:曜日指定繰り返し

アラーム表示中の機能メニュー

編集	P.420手順1へ進みます。
詳細表示	アラームの登録内容を表示します。
1件ON	登録済みのアラームを有効にします。 ▶YES ●◉(ON)を押しても有効にできます。
全件ON	登録済みのアラームをすべて有効にします。 ▶YES
1件OFF	登録済みのアラームを無効にします。 ▶YES ●◉(OFF)を押しても無効にできます。

全件OFF	登録済みのアラームをすべて無効にします。 ▶YES

お知らせ

- 通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームが終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームが終了します。
- 通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
  - ・音声電話、テレビ電話の着信があった場合
  - ・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信した場合
  - ・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定で位置提供を許可する設定にしているときに、位置提供の要求を受信した場合
  - ・「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定したときは

待受画面にアイコンが表示されます。

「🔔」....当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示されます。

「🔔」....明日以降の設定のみの場合に表示されます。

- スケジュール・ToDoの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になったときは

アラーム音が約5分間（「アラーム」は設定した時間）鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、アラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

- アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定したときは
  (📞)を押してスヌーズを解除するまで「スヌーズ通知」の設定に従って動作します。1回に付き約1分間アラーム音が鳴ります。
- 通話中は
  受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。
- 操作中は
  「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。（P.429参照）
- アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
  「アラーム」→「録画予約」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。
- 電源OFFのときは
  ＜アラーム＞
  自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
  ＜スケジュール・ToDo＞
  アラーム通知はしません。
  電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
- マナーモード中は
  バイブレータとイルミネーションの点灯でお知らせし、スケジュール・ToDoの場合はメッセージも表示します。アラーム音量についてはマナーモードの設定に従って動作します。（P.107参照）
- オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中は
  アラーム通知はしません。
  ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「アラーム」「スケジュールアラーム」「ToDoアラーム」を「通知する」に設定している場合、パーソナルデータロック中もアラーム通知が行われます。
- microSDカード操作中、赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中は
  アラーム通知はしません。

つづく

お知らせ

- 「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
- iモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
- アラーム音に設定したiモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
- 着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
  また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

アラーム音／アラームメッセージ・アニメーション／iモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／iモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン（アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定した場合は(終了)）を押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールやToDoのアラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

- スケジュールのアラームメッセージが複数あるときは、アラーム音を停止したあとに(i-αx)（次へ）、(メール)（戻る）を押して表示を切り替えることができます。

「アラーム通知」がされなかったときは

デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

<スケジュール>

MENU 4 5 カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

- アラーム通知の動作についてはP.421参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、スケジュールの件名および設定したアイコンに対応したアニメーションでお知らせします。
スケジュールはiスケジュールを含めて2500件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶(i-αx)（機能）▶新規登録▶以下の操作を行う

件名	▶アイコンを選択 ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。 ▶件名を入力 ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。 ●あらかじめアイコンに応じた件名が入力されています。
場所	▶場所を入力 ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。
位置情報	P.348参照
終日	開始日時や終了日時を入力しない、一日中のスケジュールにするかどうかを設定します。 ▶終日なし・終日あり ●「終日あり」に設定すると、自動的に開始日時の時刻が「0:00」、終了日時の時刻が「23:59」に設定されます。
開始日時	▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力

終了日時	▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。 繰り返す回数を設定します。 ▶制限無し・繰り返し回数▶繰り返し回数(回)を入力 ●「02」～「99」の2桁を入力します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム通知	▶通知方法を選択 通知する . . . . . スケジュールの開始日時に通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する . . . 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 通知しない. . . . . 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶通知する日付、時刻を入力
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
詳細	▶詳細を入力 ●全角300文字/半角600文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

- 「開始日時」に29日以降の日付を入力し、「繰り返し」を「毎月」または「毎年」に設定した場合、該当の日がない月では月末の日にスケジュールが設定されます。
- シークレット登録したスケジュールの場合、通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)では、アラーム通知時にアラームメッセージは表示されません。シークレットのアニメーションが表示されます。
- 待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

祝日を登録する

祝日は100件まで登録できます。ただし、同じ日に複数の祝日を登録することはできません。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶(機能)▶各種設定▶祝日設定▶新規登録▶以下の操作を行う

日付	▶項目を選択 毎年固定日 . . . . . 日付を入力します。 毎年ー月第ー曜日. . . 月、週、曜日を選択します。
祝日名	▶祝日名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

- お買い上げ時に登録されている祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2009年10月現在)

休日を登録する

休日は100件まで登録できます。ただし、同じ日に複数の休日を登録することはできません。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶(機能)▶各種設定▶休日設定▶当日設定

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、祝日の内容を確認します。電話帳に登録した誕生日も確認できます。

1 (MENU)▶ステーショナリー▶スケジュール

カレンダー画面が表示されます。

- (MENU)(前月)、(TV)(翌月)を押すと前後の月のカレンダーが表示されます。
- iコンシェルで週間天気予報を受信した場合は、それらの情報も表示されます。

カレンダー画面

2 日付を選択

選択した日付のスケジュール、誕生日の一覧が表示されます。

- 開始日と終了日が異なるスケジュールを繰り返す設定にした場合は、当日からさかのぼって30件まで表示されます。

スケジュール一覧画面

3 スケジュールまたは誕生日を選択

- 電話帳に登録した誕生日の場合、「メールをする」を選択すると、電話帳の1番目に登録されているメールアドレスを宛先としたiモードメールを作成できます。(P.212「Mail To 機能」参照)
「電話をする」を選択すると、電話帳の1番目に登録されている電話番号に電話などをかけることができます。(P.212「Phone To／AV Phone To 機能」参照)

スケジュール詳細画面

お知らせ

- 電話帳に登録した誕生日は、スケジュールでは編集／削除できません。編集／削除する場合は、電話帳から行ってください。(P.97、P.98参照)

カレンダー画面の機能メニュー

新規登録		P.422手順1へ進みます。
検索／フィルタ		
	指定日へ移動	**▶日付を入力**
	フィルタ	選択したアイコンで登録されているスケジュールのみを表示します。 **▶表示したいアイコンを選択▶(✉)(完了)**
	フィルタ解除	フィルタ機能を解除して、すべてのスケジュールを表示します。
お預かりセンターに接続		P.141参照
デスクトップ／登録		
	デスクトップ貼付	P.35参照
	ボタン長押し登録	P.430参照
赤外線／iC送信		
	赤外線全件送信	P.401参照

	iC全件送信	P.402参照
登録件数確認		スケジュール、iスケジュール、電話帳に登録した誕生日、祝日、休日の件数を表示します。シークレットモード／シークレット専用モード中は、シークレット登録されているスケジュールの件数も表示します。
各種設定		
	きせかえ設定	カレンダー画面のデザインを変更します。 ▶**パターンを選択**
	休日設定	
	当日設定	P.423参照
	当日解除	休日を解除します。
	前日まで解除	▶YES
	全解除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
	曜日色設定	▶**曜日を選択**▶**指定なし・赤・青** ●祝日の表示色は、本機能の設定よりも優先されます。
	祝日設定	
	新規登録	P.423「祝日を登録する」手順1へ進みます。
	編集	P.423「祝日を登録する」手順1へ進みます。
	1件削除	▶YES
	祝日リセット	祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。 ▶YES
削除		
	前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールを削除します。 ▶YES
	全削除	すべてのスケジュールを削除します。フィルタ機能でスケジュールを表示しているときは、表示しているスケジュールのみを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

＜曜日色設定＞

- 本機能の設定は待受画面のカレンダーにも反映されます。ただし、オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の表示色で表示されます。

＜削除＞

- iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールは削除されません。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

新規登録		P.422手順1へ進みます。
編集		
	編集	P.422手順1へ進みます。 ●(MENU)(編集)を押しても編集できます。 ●繰り返す設定にしたスケジュールを編集する場合、当日のスケジュールのみを編集するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると編集画面での「繰り返し」は「設定なし」になり、新規登録されます。「NO」を選択すると上書き登録されます。
	コピー	スケジュールをコピーして別の日付に登録します。 ▶**貼り付け先の日付、時刻を入力** P.422手順1へ進みます。 ●繰り返す設定にしたスケジュールをコピーした場合、編集画面での「繰り返し」は「設定なし」になります。
iモードメール作成		
	iモードメール作成	スケジュールの開始日時と詳細が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.146手順2へ進みます。

つづく

iモードメール添付	スケジュールをiモードメールに添付して送信します。 P.146手順2へ進みます。 ●(メール)または(メール)を押してもiモードメールに添付できます。
移動／コピー	
microSDへコピー	P.385参照
お預かりセンターに接続	P.141参照
検索／フィルタ	
指定日へ移動	P.424参照
フィルタ	P.424参照
フィルタ解除	P.424参照
祝日設定	
新規登録	P.423「祝日を登録する」手順1へ進みます。
編集	P.423「祝日を登録する」手順1へ進みます。
1件削除	▶YES
祝日リセット	P.425参照
デスクトップ／ 登録	
デスクトップ貼付	P.35参照
ボタン長押し登録	P.430参照
位置情報利用	
地図を見る	P.337参照
地図・GPSアプリ	P.337参照
メール貼り付け	P.337参照
電話帳登録	P.337参照
画像に付加	P.337参照
赤外線／iC送信	
赤外線送信	
送信	P.400参照
全件送信	P.401参照
iC送信	
送信	P.402参照
全件送信	P.402参照
削除	
1件削除	▶YES ●繰り返す設定にしたスケジュールを削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。
選択削除	▶削除したいスケジュールにチェック ▶(完了)▶YES
前日まで削除	P.425参照
全削除	P.425参照
シークレット設定・シークレット解除	スケジュールをシークレットに設定／解除します。 ▶YES ●通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)で「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。

お知らせ

＜削除＞

● iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールは削除されません。

iスケジュールを表示する

iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールの内容を確認します。

1 カレンダー画面・スケジュール一覧画面▶✉(iｽｹｼﾞｭｰﾙ)

iスケジュールの一覧が表示されます。

●「iスケジュールリストへ」を選択した場合はP.208「iモードで探す」参照。

iスケジュール一覧画面

2 iスケジュールを選択

iスケジュール詳細画面

iスケジュール一覧画面・iスケジュール詳細画面の機能メニュー

予定一覧表示	iスケジュールに登録されているスケジュールの一覧画面を表示します。(P.424参照) ●✉(一覧)を押すか、iスケジュール詳細画面で「このiスケジュールの予定一覧へ」を選択しても、スケジュールの一覧画面を表示できます。
削除	
1件削除 [iスケジュール一覧画面のみ]	▶YES
選択削除 [iスケジュール一覧画面のみ]	▶削除したいiスケジュールにチェック ▶✉(完了)▶YES
全削除 [iスケジュール一覧画面のみ]	▶端末暗証番号を入力▶YES

<ToDo> MENU 9 5

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを100件まで登録してスケジュールを管理できます。

●アラーム通知の動作についてはP.421参照。

1 MENU▶ステーショナリー▶ToDo▶✉(新規)▶以下の操作を行う

●登録済みのToDoを選択すると登録内容を確認でき、●(編集)を押すと編集できます。

ToDo内容	▶ToDo内容を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
期日	▶項目を選択 直接入力……期日(期限)を直接入力します。 カレンダーから入力…カレンダーから期日(期限)を選択します。期日を確認し、●(確定)を押します。 なし……期日(期限)を設定しません。アラーム通知しません。

つづく

優先度	▶優先度を選択 ●期日順でソートしたときに、同一期日の場合優先度の高い順に表示されます。
カテゴリー	▶カテゴリーを選択
アラーム通知	▶通知方法を選択 **通知する** . . . . . 設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する** . . . 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**. . . . . 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶通知する日付、時刻を入力
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択

2 ✉(完了)を押す

高:優先度高い
低:優先度低い

●ToDo内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

ToDo表示中の機能メニュー

新規登録	P.427「ToDoでスケジュールを管理する」手順1へ進みます。
編集	P.427「ToDoでスケジュールを管理する」手順1へ進みます。 ●ToDoの「状態」が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.427「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶状態を選択 ●状態アイコンは、期日を過ぎると青色から赤色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.427「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	▶カテゴリーを選択 ●ToDoを選択すると詳細が表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶表示したい順番や状態を選択
デスクトップ／登録	
デスクトップ貼付	P.35参照
ボタン長押し登録	P.430参照
iモードメール添付	ToDoをiモードメールに添付して送信します。P.146手順2へ進みます。 ●ToDoの登録内容を確認中に✉(メール)を押してもiモードメールに添付できます。
赤外線送信	P.400参照
赤外線全件送信	P.401参照
iC送信	P.402参照
iC全件送信	P.402参照
microSDへコピー	P.385参照
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoにチェック▶✉(完了)▶YES
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

<アラーム通知設定>

アラームで通知するときの状況を設定する

他の機能が起動中でも「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶時計▶アラーム通知設定▶操作優先・通知優先

操作優先.....他の機能が起動中はアラーム通知を行いません。
通知優先.....FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

- アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

<プライベートメニュー設定>

オリジナルのメニューを使う

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。メインメニューの各機能(P.494参照)から12件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

1 MENU▶MENU(ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ)

プライベートメニューが表示されます。

- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

プライベートメニュー

2 アイコンを選択

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する

MENU 5 2

1 プライベートメニュー▶(設定)

プライベートメニュー一覧画面

プライベートメニュー一覧画面の機能メニュー

メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶登録する機能を選択 ●を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。を押して登録する機能を選びます。
背景イメージ変更	▶フォルダを選択▶画像を選択
デスクトップ／登録	
デスクトップ貼付	P.35参照
ボタン長押し登録	P.430参照
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

つづく

お知らせ

＜背景イメージ変更＞

- 設定できる画像は、画像サイズが待受（480×854）以下で最大500Kバイトまでの JPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像サイズの場合は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、アニメーションGIFは設定できません。

＜マルチボタン長押し登録＞

よく使う機能をマルチボタンに登録する

よく使う機能や電話番号などを「マルチボタン長押し登録」に登録しておくことができます。[ボタン]を1秒以上押すと、登録した機能を簡単に呼び出すことができます。

1 [MENU]▶設定／サービス▶その他▶ボタン長押し登録▶項目を選択

または

登録したい項目の機能メニュー▶ボタン長押し登録▶YES

- 設定を上書きして登録されます。
- メール詳細画面の機能メニューから操作した場合、送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、登録したいメールアドレスや電話番号を選択します。
- 「ピクチャフォルダジャンプ」を登録すると、カメラの保存先に設定されているフォルダの静止画一覧画面を表示します。

お知らせ

- 登録した機能によっては、[ボタン]を1秒以上押しても起動できない場合があります。
- 本機能が「OFF」に設定されている場合、縦画面表示中の待受画面で[ボタン]を1秒以上押すと機能を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、マルチボタン長押し登録は無効になります。（電話番号、メールアドレス、URLを除く）

＜TV／録画ボタン長押し登録＞

TV／録画ボタンを押したときの動作を設定する

待受画面で[9]を1秒以上押したときに起動する機能を設定します。

1 [MENU]▶設定／サービス▶その他▶TV／録画ボタン長押し登録▶ワンセグ起動・ミュージックプレーヤー起動

＜自局番号表示＞

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

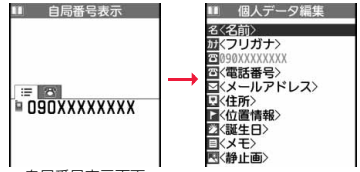
[MENU] [O]

契約の電話番号（自局番号）の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号（3件）、メールアドレス（3件）、住所、位置情報、誕生日、メモ、静止画を登録できます。

メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 [MENU]▶電話帳▶自局番号表示▶[✉]（編集）▶端末暗証番号を入力

P.88手順2の操作を行って個人データを登録します。



自局番号表示画面

- 自局番号は変更、削除できません。
- 1番目のメールアドレスを登録する場合、「自動取得」で自動的に入力するか、「直接入力」で入力するかを選択できます。「自動取得」を選択すると、iモード接続が行われ、ご契約のメールアドレスが自動的に入力されます。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。
- 本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。
- 2in1設定がONの場合に1番目のメールアドレスの自動取得を行うと、Aアドレス、Bアドレスのそれぞれが1番目のメールアドレスとして入力されます。

自局番号表示画面の機能メニュー

個人データ編集	P.430「自分の名前やメールアドレスなどを登録する」手順1へ進みます。
文字サイズ変更	自局番号や「電話帳設定」内などの文字サイズを切り替えます。(P.120「電話帳」参照)
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶**端末暗証番号を入力** ●でそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・位置情報コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●自局番号表示画面で●を押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって表示される機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	P.400参照 ●📷(赤外線)を押しても赤外線送信できます。
iC送信	P.402参照 ●MENU(iC送信)を押してもiC送信できます。
microSDへコピー	P.385参照
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・位置情報削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶**YES** ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●自局番号表示画面で●を押して削除する項目を選びます。選んだ項目によって表示される機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶**YES** ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。
Bナンバー自動取得	2in1契約の問い合わせを行い、契約済みの場合はBナンバーを保存します。

＜通話中音声メモ＞＜音声メモ録音＞

音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約3分間です。

- 「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生／消去についてはP.78参照。

音声電話中に相手の声を録音する

1 音声電話中▶▼(1秒以上)または✉(メモ)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

- 録音を途中で止めるときは●(停止)、CLRまたは▼(1秒以上)を押します。
- 録音中に📞を押すと、録音が停止し、通話が終了します。
- 録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生に関わらず上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する MENU 5 5

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶音声メモ録音▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは●(停止)、CLRまたは📞を押します。
- 録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

<動画メモ>

テレビ電話中の映像を動画メモとして録画する

テレビ電話中の受信映像を音声とともに録画できます。
1件につき約20秒間、5件まで録画できます。

- 「動画メモ」の再生／消去についてはP.78参照。

1 テレビ電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録画が始まります。録画が始まると「●REC」が表示されます。

- 相手には「画像選択」の「動画メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録画を途中で止めるときは●(停止)または▼(1秒以上)を押します。
- 録画中に📞を押すと、録画が停止し、通話が終了します。
- 録画時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録画が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「動画メモ」がすでに5件保存されているときに録画をした場合は、再生・未再生に関わらず最も古い「動画メモ」に上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録画できません。

＜通話時間／料金＞

MENU 6 1

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 MENU▶設定／サービス▶時間／料金▶通話時間／料金

前回通話時間

音声通話　　：直前の音声電話の通話時間を表示します。
デジタルAV呼　：直前のテレビ電話の通話時間を表示します。
非制限デジタル：直前の64Kデータ通信の通話時間を表示します。

前回通話料金

音声通話　　：直前の音声電話の通話料金を表示します。
デジタルAV呼　：直前のテレビ電話の通話料金を表示します。
非制限デジタル：直前の64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算通話時間

音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金

積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

時間リセット日時

前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。

料金リセット日時

前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

お知らせ

- 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」（P.57参照）が表示されている間は料金は課金されません。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「￥＊＊」になります。

＜積算リセット＞

MENU 6 0

積算時間／積算通話料金をリセットする

1 MENU▶設定／サービス▶時間／料金▶積算リセット▶端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力 ●PIN2コードについてはP.125参照。

＜通話料金通知＞

通話料金の上限値を設定する

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。「自動リセット設定」を「ON」に設定すると、毎月1日の0時に積算通話料金がリセットされ、「¥」が消去されます。

1 MENU▶設定／サービス▶時間／料金▶通話料金通知▶端末暗証番号を入力▶ON・OFF▶上限料金を入力

- 10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

2 通知方法を選択▶ON・OFF▶PIN2コードを入力

- PIN2コードについてはP.125参照。

積算通話料金が上限料金を超えたときは

「¥」が表示されます。通知方法に「アイコン＋アラーム」を設定している場合は、待受画面に戻ったときに通話料金が上限料金を超えた旨のメッセージが表示され、スピーカーから警告音が鳴ります。

上限値アイコン消去

通話料金通知で表示された「¥」を消去します。

1 MENU▶設定／サービス▶時間／料金▶上限値アイコン消去▶端末暗証番号を入力

お知らせ

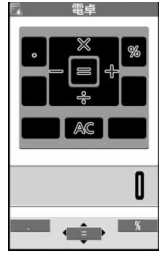
- 積算通話料金リセット、設定リセット、端末初期化を行うと、「¥」は消去されます。
- 上限値を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

＜電卓＞ MENU 8 5

電卓を使う

電卓を表示して四則演算（＋、－、×、÷）を行います。10桁まで表示できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶電卓▶以下の操作で計算を行う



○	＋	○	×
○	－	○	÷
●	＝	✉	小数点
⌨	%		
CLR	C（クリア）：直前に入力した数字を取り消します。		
	AC（オールクリア）：入力した計算をすべて取り消します。		

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「E」を表示します。

＜テキストメモ＞ MENU 4 2

テキストメモを作成する

テキストメモを20件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶テキストメモ▶＜未登録＞を選択▶テキストメモを入力

- 全角256文字/半角512文字まで入力できます。
- 登録済みのテキストメモを選択すると登録内容を確認でき、●（編集）を押すと編集できます。

テキストメモ表示中の機能メニュー

編集	P.434「テキストメモを作成する」手順1へ進みます。
分類	テキストメモをカテゴリー別に設定します。 ▶**分類を選択** ●設定しない場合は「なし」になります。
テキストメモ情報	テキストメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。
iモードメール作成	テキストメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.146手順2へ進みます。 ●✉(■✉■)を押してもiモードメールを作成できます。
スケジュール作成	テキストメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 P.422手順1へ進みます。
移動／コピー	
microSDへコピー	P.385参照
お預かりセンターに保存	P.141参照
デスクトップ／ 登録	
デスクトップ貼付	P.35参照
ボタン長押し登録	P.430参照
赤外線／iC送信	
赤外線送信	
送信	P.400参照
全件送信	P.401参照
iC送信	
送信	P.402参照
全件送信	P.402参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいテキストメモにチェック ▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜赤外線送信＞＜iC送信＞
●テキストメモの詳細画面では「送信」の動作になります。
＜削除＞
●テキストメモの詳細画面では「1件削除」の動作になります。

＜FOMAカード(UIM)操作＞

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに保存している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 MENU▶**電話帳**▶**FOMAカード(UIM)操作**▶**端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「」が表示され、電話やメールの機能は使えません。
●端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作が終了します。

つづく

2 コピー・削除▶コピー先や削除元を選択▶電話帳・SMS

電話帳

電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS

受信BOX ....受信BOX内のデータをコピー・削除します。

送信BOX ....送信BOX内のデータをコピー・削除します。

フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

- FOMAカードへ移動・コピーする場合、2in1がONのときは2in1の管理情報が削除される旨の確認画面が表示されます。

3 コピー・削除したいデータにチェック▶✉(完了)▶YES

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。 ▶YES
1件選択	1件選択します。
タブ内全選択	表示しているタブ内のすべての電話帳を選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
タブ内全選択解除	表示しているタブ内の電話帳の選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。

電話帳の機能メニューからコピーする

1 電話帳詳細画面▶iα(機能)▶移動／コピー▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

メールの機能メニューから移動・コピーする

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶iα(機能)▶移動／コピー▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES

「✉(青色)」はFOMA端末内のSMSを表します。

「▣」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末(本体)からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレット登録された電話帳は、シークレットモード／シークレット専用モード中もFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定している場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定していない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護しているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
  また、2in1を利用中は、現在のモードに関わらず、すべてAナンバーのSMSとして保存されます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。

<スイッチ付イヤホンマイク>

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 別売りのイヤホンマイク 01、スイッチ付イヤホンマイク P001/P002、ステレオイヤホンセット P001、平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02、平型ステレオイヤホンセット P01も同様の操作で使用できます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

外部接続端子のカバーを開け、ステレオイヤホンマイク 01の接続プラグを差し込んでください。(P.22参照)

<イヤホンマイク設定>

イヤホンをつないだときに使うマイクを選ぶ

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに使うマイクを、FOMA端末(本体)側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 (MENU)▶設定／サービス▶その他▶イヤホンマイク設定▶本体マイク・イヤホンマイク

お知らせ

- マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」に設定してください。
- 「本体マイク」に設定しているときにステレオイヤホンマイクを接続すると、FOMA端末(本体)側のマイクの感度が高くなります。

スイッチを使って電話をかける

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

- ヨコオープンスタイルでも利用できます。ただし、ステレオイヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
- FOMA端末の操作でも、電話をかけることができます。

3 お話が終わったら、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 着信中▶ステレオイヤホンマイクのスイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

テレビ電話の場合、相手にはカメラ映像が送信されます。テレビ電話中に(MENU)を押してカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。(P.80参照)

- FOMA端末を閉じた状態やヨコオープンスタイルでも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信設定」を「オート着信あり」に設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 お話が終わったら、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

つづく

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってからステレオイヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中にステレオイヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話を保留していた場合、カメラ映像が送信され、テレビ電話が開始されます)
- ステレオイヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に▲(音量を上げる)、▼(音量を下げる)を押すと、音量調節ができます。

＜イヤホンスイッチ発信設定＞

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定しておくと、待受画面でステレオイヤホンマイク 01(別売)のスイッチを押して音声電話の発信ができます。

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶自動発着信設定▶イヤホンスイッチ発信設定▶音声発信・OFF

- ✉(確認)を押すと現在設定している電話帳を確認できます。

2 電話帳を検索▶電話帳を選択

お知らせ

- FOMA端末(本体)の電話帳のみ設定できます。

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号が設定されます。
- 設定した電話帳を削除した場合、メモリ番号999の電話帳が自動的にイヤホンスイッチ発信設定に登録されます。

＜オート着信設定＞

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶自動発着信設定▶オート着信設定▶オート着信あり・オート着信なし▶呼出時間(秒)を入力

- 「001」～「120」の3桁を入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信設定、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。(P.80参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- ステレオイヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

<Bluetooth機能>

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット 02(別売)をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetooth機能でできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービス(Ver.1.3)も利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1
対応プロファイル※2(対応サービス)
HSP:Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) HFP:Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) A2DP:Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile (オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル) DUNP:Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) OPP:Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) SPP:Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ヘッドセットで通話する

ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

・ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

■ハンズフリーで通話する

カーナビなどのBluetooth通信対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

・ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット P01/02(別売)やBluetooth通信対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。(詳しくはP.444「ワンセグの音声を再生する」のお知らせ参照。)

・ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ワイヤレスで通信する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

・ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。

・詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■Bluetooth通信で電話帳を送信する

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth通信で接続して、電話帳データを送信できます。電話帳の機能メニューから送信します。

・ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ｉアプリからBluetooth通信を利用する

Bluetooth通信を利用して他の携帯電話やBluetooth通信対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームを行ったり、データを管理したりできます。同時に3台まで接続できます。

・ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

つづく

■Bluetooth機器から出力される音

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
伝言メモ録音・録画中の相手の音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○
iモーション再生音		×	×	○※3
ムービー再生音		×	×	○
ビデオ再生音		×	×	○
「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画の再生音		×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※4	○※4	○※5
	操作優先	×※6	×※6	×※6
メール着信音	通知優先	×	×	○※5
	操作優先	×※6	×※6	×※6

○：Bluetooth機器から出力されます
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります
※1 「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定していると、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
※2 「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
※3 iモーションによっては鳴らない場合があります。
※4 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピピッ」という通知音が鳴ります。
※5 ミュージック再生中、Music&Videoチャネル再生中、ワンセグ視聴中、ビデオ再生中の場合は、Bluetooth機器から鳴ります。
※6 待受画面以外を表示中はアラーム通知音／メール着信音は鳴りません。
●お使いのBluetooth機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ

●Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

●他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
●他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
●放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
●Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
●10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
・電車内　・航空機内　・病院内
・自動ドアや火災報知機から近い場所
・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

機器登録

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶新規機器登録▶OK

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。
Bluetooth機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大20件まで表示されます。
- 登録機器リスト画面で✉(サーチ)を押しても、Bluetooth機器を検索します。
- サーチ中に中止する場合は✉(中止)を押します。

2 登録したいBluetooth機器を選択▶YES

- ワイヤレスイヤホンセット 02を登録する場合は、手順4へ進みます。

3 Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定

- 半角英数字で16文字まで入力できます。
- BluetoothパスキーについてはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーが不要なものがあります。その場合、手順4へ進みます。

4 接続したいサービスを選択

サービス選択画面

Bluetooth機器と接続され「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、低消費電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。
- 複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続中は「(青色)」、接続待機中は「(グレー)」がサービス名の横に表示されています。
- 「ダイヤルアップ」を選択した場合は、FOMA端末を接続待機中にします。
- 接続を解除するには、接続中のサービスを選択して「YES」を選択します。
- 接続待機中のサービスを解除するには、P.443「接続待機」参照。

お知らせ
- すでに10件のBluetooth機器が登録されている場合は、保護設定、優先機器設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古いBluetooth機器に上書きされます。よく利用するBluetooth機器や上書きされたくないBluetooth機器には保護設定を行うことをおすすめします。
- 電話帳を送信する場合は、相手のBluetooth機器を選択した際に、機器登録を行わなくても送信できます。
- セルフモード設定中はBluetooth機能は起動できません。

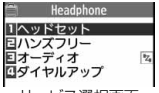
接続

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト▶接続したいBluetooth機器を選択▶接続したいサービスを選択

- 詳細については、P.441手順4参照。

登録機器リスト画面



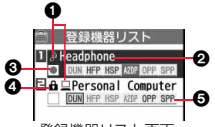
サービス選択画面

つづく

■登録機器リスト画面について

❶機器種別

:パソコン　:電話
:ネットワーク機器　:オーディオ機器
:周辺機器　:イメージング機器
:その他



登録機器リスト画面

❷機器名称

Bluetooth機器の名称が表示されます。

サーチ時に名称が検出できなかった場合はBluetoothアドレスが表示されます。

❸接続状態

:接続中　:未接続　:未検出　NEW:未登録

❹保護

登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺プロファイル状態

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	青	グレー	なし	未接続(未登録)
HSP	青	グレー	青	未接続(登録済み)
HSP	白	緑	なし	接続中
HSP	緑	白	緑	接続待機中
HSP	白	薄緑	なし	優先機器設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

お知らせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約110秒かかります。
- ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。

登録機器リスト画面の機能メニュー

機器登録	P.441手順3へ進みます。
優先機器設定	電話がかかってきたときに優先して接続するBluetooth機器に設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。 ●すでに他のBluetooth機器を設定していた場合、その設定は解除され、選択したBluetooth機器が優先機器に設定されます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保護／解除	登録したBluetooth機器を削除・上書きされないように保護します。5件まで保護できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
機器名称変更	登録しているBluetooth機器の名称を変更します。 ▶**機器名称を入力** ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
登録機器削除	登録しているBluetooth機器を削除します。 ▶**YES**
登録機器情報	Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。
デスクトップ／ 登録	
デスクトップ貼付	P.35参照
ボタン長押し登録	P.430参照

お知らせ

＜機器登録＞

- すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。(機器名称を変更していた場合は元に戻ります。)登録済みと異なるプロファイルを選択した場合は、プロファイルが追加登録されます。

お知らせ

＜優先機器設定＞

- 優先機器設定を設定していても、ヘッドセットサービスを接続待機中にしていないと接続されません。また、他のBluetooth機器がヘッドセットサービスで接続中の場合は、接続中のBluetooth機器が優先されます。

＜登録機器削除＞

- Bluetooth機器の状態が接続中または接続待機中の場合は削除できません。

接続待機

登録しているすべてのBluetooth機器の接続状態を各サービスごとに接続待機に設定します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶接続待機▶待機中にしたいサービスにチェック▶✉(完了)

- 解除する場合は解除したいサービスのチェックを外し✉(完了)を押します。
- 接続待機中は「Bluetooth(青色)」が点灯します。

Bluetooth電源オフ

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth電源オフ▶YES

- 前回接続していたBluetooth機器の接続待機を有効にするには「MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth起動」の操作を行います。

ダイヤルアップ登録待機

Bluetooth通信対応のパソコンやカーナビなどとFOMA端末をワイヤレス接続して、通話や通信を行います。詳しくは、PDF版「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.441参照。

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

Bluetooth機器で通話中は「Bluetooth」が表示されます。

- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

通話中に📞を1秒以上押します。

- 通話中にi-αi(機能)を押して「通話機切替」を選択しても切り替えられます。
- ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。
- Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器に切り替えても、USBハンズフリー対応機器やイヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で通話できません。また、平型AV出力ケーブル(別売)接続中のテレビ電話の場合も、Bluetooth機器では通話できません。
- 遠隔監視中はBluetooth機器に切り替えられません。

お知らせ

- オールロック、おまかせロック中はBluetooth機器での着信への応答ができません。
- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中はFOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

つづく

お知らせ

- Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中にBluetooth通信が切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。ただし、FOMA端末を閉じているときに切断され、「切断時通話設定」が「本体で通話継続」に設定されている場合は、「クローズ動作設定」の設定に従います。「クローズ動作設定」が「終話」に設定されている場合は、「ミュート」の動作になります。

ワンセグの音声を再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.441参照。

2 ワンセグを視聴する

Bluetooth機器から音声が出力されます。出力中は「(青色)」と「♪」が交互に表示されます。

- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音声が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグの音声を再生できます。
- 音声をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

お知らせ

- イヤホンマイク(別売)や平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中に音声が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  ·Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  ·GPSの位置提供要求を受信したとき
  ·メールやメッセージR/Fを受信したとき
  ·電池切れアラームが鳴ったとき
  ·「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき
  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

iモーションの音声や音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、iモーションの音声やミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.441参照。
- オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、「ミュージックプレーヤー自動起動」を「自動起動／終了なし」に設定している場合は、自動で起動されません。また、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動中は、自動で起動されないことがあります。

2 ファイルを再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。出力中は「(青色)」と「♪」が交互に表示されます。

- Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ファイルを再生する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、iモーションの場合は自動で接続できません。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみビデオや、「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画の音声を再生できます。
- 音声や音楽をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- イヤホンマイク(別売)や平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  ・Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  ・GPSの位置提供要求を受信したとき
  ・メールやメッセージR/Fを受信したとき
  ・電池切れアラームが鳴ったとき
  ・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき
  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

お知らせ

- Bluetooth機器と接続してミュージックプレーヤーを起動中に、FOMA端末を閉じた状態でBluetooth機器との接続が切れた場合は、ミュージックプレーヤーが終了します。ただし、「ミュージックプレーヤー自動起動」を「自動起動／終了なし」に設定している場合はミュージックプレーヤーは終了しません。

Bluetooth設定

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth設定▶以下の操作を行う

- 通話中やデータ通信中は操作できません。

セキュリティ設定	Bluetooth機器で電話帳データを送信するときの認証の有無を設定します。認証する場合はデータを暗号化するかどうかを設定します。 **▶セキュリティ設定あり・セキュリティ設定なし** **▶暗号化あり・暗号化なし**
全件転送パスワード設定	電話帳を全件送信する際にパスワードを入力するかどうかを設定します。 **▶パスワードあり・パスワードなし**
サーチ時間	FOMA端末周辺のBluetooth通信対応機器を検索する時間を設定します。 **▶サーチ時間(秒)を入力** ●「05」～「20」の2桁を入力します。
着信音送出設定	接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話とテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。「優先機器設定」で優先機器を設定している場合は、その機器が接続待機中でも接続を行い着信音を送信します。 **▶送る・送らない**
切断時通話設定	ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetooth通信が切断されたとき、通話を終了するかFOMA端末で通話するかを設定します。 **▶通話終了・本体で通話継続**

ヘッドセット操作による発信	ヘッドセット機器のスイッチで電話をかけることができるかどうか設定します。 ▶**有効・無効**
ミュージックプレーヤー自動起動	待受画面からBluetooth機器とオーディオサービスで接続、切断する際に、同時に自動でミュージックプレーヤーも起動または終了するかどうかを設定します。 ▶**自動起動／終了あり・自動起動／終了なし**
自局情報	FOMA端末に搭載しているBluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、機器名称の変更もできます。 ●機器名称を変更する場合は、✉(編集)を押して機器名称を入力します。全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

＜セキュリティ設定＞

- 電話帳データを送信するBluetooth機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本機能の設定に関わらず認証あり・暗号化ありで送信します。
- 接続中や接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

＜着信音送出設定＞

- ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

＜自局情報＞

- 機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

フェムトセルを利用する

フェムトセルとは、小型の無線基地局装置を屋内に設置することによって、その基地局の圏内でFOMA端末を利用する機能です。

- フェムトセルの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 海外では、フェムトセルは利用できません。

フェムトセル設定

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶フェムトセル設定▶以下の操作を行う

フェムトセル利用設定	「フェムトセルサーチ」「フェムトセル優先在圏設定」を有効にするかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
フェムトセルサーチ	フェムトセルのネットワークに接続します。 ▶**OK**
フェムトセル優先在圏設定	通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルを優先的に使うかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**

＜設定確認＞

各種機能の設定内容を確認する

以下の機能の設定内容を確認します。

- ·照明設定
- ·ビューブラインド
- ·画質モード設定
- ·自動電源ON
- ·自動電源OFF
- ·受話音量
- ·しっかりトーク
- ·ノイズキャンセラ
- ·3G/GSM切替
- ·フェムトセル利用設定
- ·スタイル連動設定

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶設定確認

- お買い上げ時の設定から変更されている項目には「★」マークが付きます。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合、「3G/GSM切替」の設定内容には「★---」が表示されます。